



豊かな自然・  
かがやく文化  
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

## 阿賀町学習指導センターだより

令和3年7月6日（火）№8

### 学校訪問より vol. 6 ～阿賀津川中 渡辺 秀和 先生～

1年 技術科学 単元「技術の見方・考え方を利用して、問題点を見つけよう」、小単元「材料と加工の技術による問題解決をすることができる。」の授業です。本時は、13時間中2時間目。「ICTを活用し、仲間との交流・検討を通して、技術の見方・考え方に則してグループ分けをすることができる。」「本時の学習をもとにして、自分の家の問題点について考えることができる。」の2つをねらいとされました。

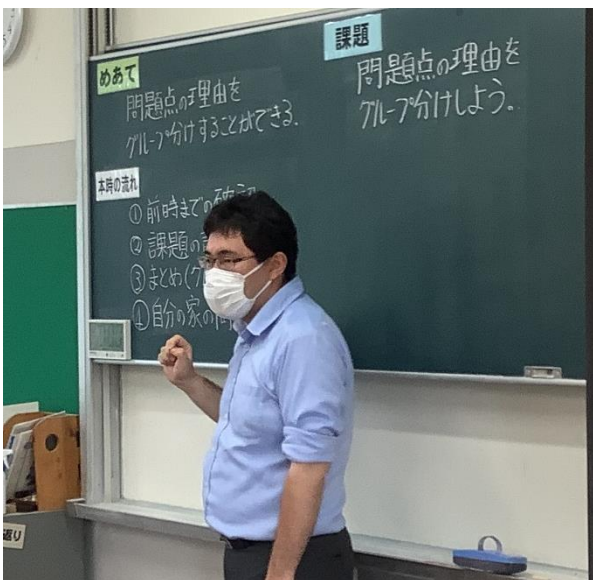
生徒の真剣なまなざし。渡辺先生の張りのある、でも柔らかな声が教室に響く。授業がスタートしました。(写真上)



導入。渡辺先生は、黒板を指しながら、「めあて」「本時の流れ」「課題」を生徒と共有します。「本時の流れ」を明示されたことによって、生徒は学習の見通しをもつことができます。UDに配慮した手だてです。とても素晴らしいです。(写真下)

前時の学習を想起させた後、本時の重要なキーワード。「技術の見方・考え方※」を生徒と確認します。生徒も口々に発言します。教科書に立ち返り、確認する生徒も見られました。

「問題点の理由のグループ分け」にロイロノートのツール「シンキングツール」を用いました。提出済みの生徒のテキスト(問題点の理由)を配付し、タブレット上で4つの観点でグループ分けをします。その際、司会、操作担当を予め決めていたことで、グループでの検討がスムーズに行われていました。





渡辺先生は、期間巡視をしながら、生徒の状況を把握、指導(形成的FB)を行われていました。自力解決、グループ解決では大切な指導です。丁寧な指導をなさっていると感じました。

グループ分け作業で、繰り返し教科書に立ち返って仲間と話し合ったり、仲間の考えにつなげて話したりする生徒、「これって、〇〇たからさ、～じゃないかな?」とつぶやく生徒が見られました。これは、協働的な学びであり、自己調整しながら学ぶ姿の現れです。(写真上)

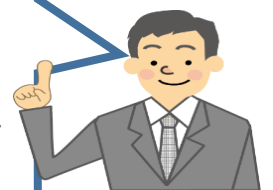


展開後半。各グループでグループ分けされた考えを一つ一つ確認していきます。(写真下)その中で、渡辺先生が、生徒の考えに対し、質問したり、確認したりする様子が見られました。これも生徒に自己内対話を促す効果的な働きかけです。生徒もまた、論理的に説明していました。すばらしいと思いました。

生徒が、自分たちの家の問題点を「技術の見方・考え方」によってどのように捉え、その問題点を改善していくか、今後の授業が楽しみになりました。

タブレット端末を含むICT機器を活用した協働学習として参考となります。ぜひ、各校におかれましても実践していただければと思います。

自己内対話したり、仲間と対話しながら自分へさらに問い返したりする学びの姿こそ、主体的・対話的な学びの姿です。そんな姿が見られた授業でした。



※「技術の見方・考え方」→「社会からの要求」「安全性」「環境への負荷」「経済性」のこと。渡辺先生が授業づくりの上で大事されている、教科「技術科学」のキーワードです。

発行 阿賀町学習指導センター

住所 〒959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地 1

電話 0254-92-3337 FAX 0254-92-2116

E-mail [kohiyama\\_hyk4042@town.aga.lg.jp](mailto:kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp) [kyoiku3@town.aga.ed.jp](mailto:kyoiku3@town.aga.ed.jp)



町の鳥 ウグイス